

<b>裾野市</b>	所属議員	浅田基行、井出悟
------------	------	----------

**産業目線**

【活動項目】 産業道路環境	【活動テーマ】新産業・事業の誘致に向けた環境の創出	
<b>到達目標</b>	①国道沿線や都市計画道路縁辺において都市計画を見直し、積極的に商業施設誘致を進める。 ②土地利用の転換に向けた取り組みなどへ着手する。	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致の必要性ついて、会派の代表質問、一般質問で取り組んだ。</li> <li>・会派提言書を市長に提出した。</li> </ul>	
今回 具体的活動	<p><b>【第5次総合計画 基本構想に対して意見を提出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Woven Cityの立地により、最先端技術開発の強化と産業集積が想定される。</li> <li>・東名裾野インター北部地域を新産業事業誘致の強化地域と捉え、事業誘致環境の創出を強化する必要性について、記載を要望。</li> </ul> <p><b>【第4次国土利用計画に対して意見を提出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東名裾野インター北部地域を新産業事業誘致の強化地域とする必要性について記載を要望。</li> </ul> <p><b>【代表質問、一般質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDCC構想を実現させるためには、新産業の誘致に向けた企画力を高める必要があり、そのためには組織体制の強化が必要である。</li> <li>・SDCC構想を具現化するために、事業のスクラップ・アンド・ビルドをより強力で推進し、メリハリある財源確保が必要。基金創設なども視野に入れるべきである。</li> <li>・企業から裾野市への立地に対する照会の機会が多いとのことだが、土地利用規制などにより、なかなか進まない状況である。従来の産官学労の連携に加え、地域企業と深く関わっている金融機関とも連携した上で、誘致の障害となっている規制や制約などを打破するために、関係者の知恵を集約し、当市での実現に向け関係機関に働きかけるなど、積極的に取り組む必要がある</li> </ul>	
<b>今回の進捗</b> 【○】  ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<p style="text-align: center;">【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p style="text-align: center;">一般質問で活動テーマ内容に関連した質問を展開する浅田議員</p>	
今後の活動	総合計画の策定、国土利用計画、都市計画マスタープランの改定に要望事項が折り込まれる様、取り組みを継続する。	

<b>裾野市</b>	所属議員	浅田基行、井出悟
------------	------	----------

組合員目線

【活動項目】交通安全	【活動テーマ】高齢ドライバーの安全	
<b>到達目標</b>	①自家用車から公共交通へのモーダルシフトを促す戦略的政策の構築	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致の必要性ついて、会派の代表質問、一般質問で取り組み。</li> <li>・会派提言書を市長に提出</li> </ul>	
<b>今回</b> <b>具体的活動</b>  <b>今回の進捗</b> <b>【○】</b>  ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<p><b>【高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金の創設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に高齢者の自動車運転事故が多発しており、地方に住む高齢者の移動手段として車は必要不可欠のものであり、免許返納がすすまない。</li> <li>・公共交通網の整備不足など移動手段の確保が課題となっている。</li> <li>・高齢者を取り巻くモビリティ環境の実態を鑑み、免許返納者に対する補助と、安全装置着用する補助ができる対策を早急に取り決め実施する必要がある事について課題提起と、提言を行ってきた。</li> <li>・高齢ドライバーの事故防止のため、加速抑制装置の設置に補助を実施。</li> <li>・補助対象者は市内在住の70歳以上、補助額は70%で上限3万円。</li> <li>・利用者は補助額を差し引いた額のみを、指定業者に支払う形となっており、高齢者の制度利用における利便性も向上している。</li> </ul> <p><b>【タクシー利用における、PayPay（電子マネー）の活用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にも電子マネーを積極的に活用して頂けるよう、交通事業者と連携しタクシー利用においても、キャッシュバックができるよう、PayPayとの協定による事業を実施。</li> <li>・第1弾は2020年11月、第2弾は2021年2月に実施する。</li> </ul>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> 
今後の活動	新たな公共交通などの提言も並行し、交通弱者に対する戦略的政策の創出につなげる取り組みを継続する。	